

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月18日 更新

事務事業名		粗大ごみ収集運搬助成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	市民生活部	課長名	岡田光弘
	施策	21 廃棄物の抑制とリサイクルの推進				所属課	環境衛生課	担当者名	前田 圭亮
	施策の柱	63 廃棄物の適正処理				所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目		会計一般	款4	項2	目1	事業連番10198	根拠法令	合志市粗大ごみ収集運搬助成金交付要綱 成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☐ 29年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各地区において、地域の高齢者一人暮らし等で粗大ごみを搬出できない世帯の粗大ごみを収集運搬する場合に燃料費等を補助する目的で、平成6年度から開始した。 区長が区民の家庭用粗大ごみを収集運搬する場合に費用の一部を助成する。 助成金の額 : 運搬回数3回以下の場合25,000円、4回以上の場合、1回増すごとに10,000円加算一人暮らし高齢者は増加している。トラック等の車両や人間の手配が容易ではない。
【業務の流れ】	補助金交付申請、審査、交付決定通知、支払い事務
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金 (補助金)
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO) 補助金交付申請受付、審査、交付決定通知、支払い事務		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 申請の相談があった時点で対応する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
⇒ ア: 申請件数		予算計上なし
⇒ イ:		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等一般廃棄物	(単位) t	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		⇒ ア: 粗大ごみ処理量
		⇒ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自分で処理ができない粗大ごみを区が収集することにより適正に処理する	(単位) t	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		⇒ ア: 収集した量
		⇒ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠 平成26年度の、粗大ごみ収集の相談及び申請がないので、成果指標の「収集した量」と目標値については「0t」と設定した。		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度 実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込
① 活動指標	ア	件	1	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	t	1.66	149	104	89	104	104	104	104
	イ									
③ 成果指標	ア	t	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ									
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	35						
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	35	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正職員従事人数	正職員従事人数	人	0	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	0	20	16	16	16	16	16
	(B) 人件費計	(B) 人件費計	千円	0	0	63	63	63	63	63
トータルコスト(A)+(B)		トータルコスト(A)+(B)	千円	35	0	63	63	63	63	63

事務事業名	粗大ごみ収集運搬助成事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 この事業について、区長会で周知することで目標達成の見込みはある。希望する区があれば補正対応する。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 粗大ごみの収集運搬する車両等の確保の問題があり、実施する区が増えない。この事業について、区長会で周知することで向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付のみである。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付に関する事務のみで削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 すべての地区を対象としているが、粗大ごみを収集運搬する車両等の確保の問題があり、実施する地区としない地区があり、粗大ごみの処理に関する費用に差が生じる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金の交付に関する事務のみであり適正だと考える。

3 評価結果の総括（CHECK）

今後要望があった場合は速やかに対応する。地域からの要望を拾い上げるため、制度の周知徹底が必要。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												